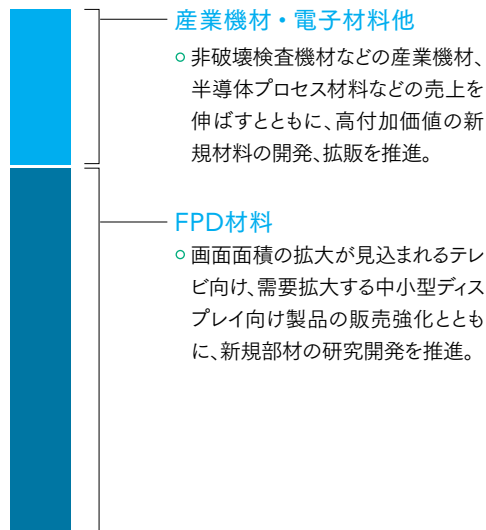


高機能材料



高機能材料分野の
売上イメージ

FPD材料で安定した収益を確保しつつ、 新規高機能材料により事業を拡大

フラットパネルディスプレイ(FPD)材料分野においては、大型化に伴い依然として緩やかな画面面積の成長が見込まれるテレビ向け用途や、需要拡大が期待される中小型ディスプレイ向け製品において、安定した収益を確保していきます。

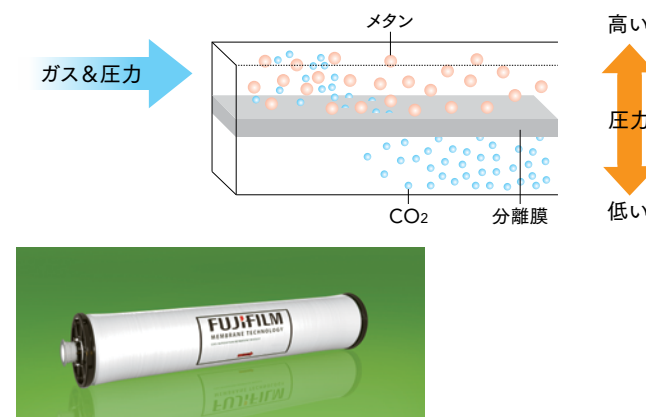
一方、新規分野では、「エクスクリア」に代表されるタッチパネル周辺部材だけでなく、太陽電池用バックシートやCO₂分離膜・イオン交換膜など、環境・エネルギー分野へも進出しています。ニーズをとらえた高付加価値の機能部材の開発・提供によりさらなる事業の拡大を進めるだけでなく、CO₂削減やエネルギー問題など、社会的課題解決への寄与が期待される製品の開発に取り組んでいます。

独自技術が生かせる新規事業の創出を目指して 新規高機能材料の開発推進

富士フィルムが開発中の新規高機能材料の一つに、天然ガス精製のCO₂分離膜があります。その特長は、膜を介する分圧差によって、気体の透過を促し、目的とする気体のみを透過させる点です。これには、写真フィルムで培った製膜技術や精密塗布技術などのコア技術が生きており、次世代フィルタリング技術として大きな期待が寄せられています。

環境に優しい天然ガスを、より高効率・低コストに。富士フィルムは新時代のエネルギー作りに挑戦しています。

CO₂分離膜による天然ガス精製



「高機能材料開発本部」を設立し 新規事業創出を推進

高機能材料分野における新規商品・事業の創出の加速を目的に、2013年6月に「高機能材料開発本部」を設立しました。この組織では、人材・技術・資金など必要な社内外のリソースを集め、少人数のプロジェクトチームを編成して新規ビジネスの事業化を推進します。変化や競争が激しい現代社会において、「小さく・早く・安く・多く」をキーワードに、収益性の高い商品・事業を継続的に創出することを目指しています。

今後、当社グループが持つ幅広い技術やノウハウを全社横断的に活用すると共に、「Open



富士フィルム(株)
執行役員
高機能材料開発本部長
岩寄 孝志

Innovation Hub)*などを用いてお客様の潜在ニーズとマッチングさせて新しい価値を“共創”することで、新規事業の創出を促進していきます。

* 創立80周年を記念して2014年1月20日に開設した施設で、当社グループが創業以来培ってきたコア技術とその応用展開の事例を示し、お客様とのコミュニケーションを深めながら課題解決やアイデアの具体化を進める「共創」の場。